



「私はこう考える」編 その7

○今回の地震をきっかけにご、近所との結びつきがさらに深まりました。たくさん助けられました。同年代の子どもたちがたくさんいるので、この結びつきを大切にしていきたいと思います。



○学校が開くまでの数日、私も主人も仕事に出なければならず、余震が続く中、家に子どもだけ残して行くのはとても心配でした。子どもたちも一時期は、一人でトイレに行くことを怖がるなど、ストレスを感じているんだなと思うこともありました。地震を通して、家族の絆や近所の方とのつながりの大切さなど感じる事が多かったです。学校で先生や友達に会える楽しさが安心感につながっているように思われます。



○震災後、学校再開に向けて尽力頂いた先生方に本当に感謝しております。美咲野小だよりを読みながら泣きそうになりました。このように文字として残して頂き本当にありがとうございました。河原地区の一日も早い復興をお祈りしております。

(ありがとうございます。河原小、山西小の避難所は7月16日に全員が移られ、避難所が閉じられたと聞きました。震災後3ヶ月本当に大変だったろうと改めて思いました。)



○今回の地震で、ご近所さんと声を掛け合い、協力し合うことの大切さを知りました。子ども同士で遊んでいるときに地震が来たらどうすればよいか等、親として考えていきたいと思っています。

○4月14日からの先生方の活動、復興への道のりが鮮明に記載されており震災からの想いを整理することができました。～中略～先生たちのご尽力の元、当たり前だと思っていた学校生活に戻っていけることに、感謝の気持ちでいっぱいです。地域住民としてお手伝いに参加できなかったことを反省しつつ、今後も地域コミュニティを培っていけるように、家族で話し合っていきたいと思っています。



○地震の時は、自分のことで精一杯でしたので、学校内はこんなに大変だったのかと思い、ありがたい気持ちでいっぱいになりました。開校4年めの美咲野小の被害が大きく、学校再開後も大丈夫なんだろうと思う毎日です。やはり巨大地震に備えての訓練が、今後も必要なのだと思います。



○先生たちも同じ環境下で、子ども頂の事を最優先に考えて動いて頂き感謝しています。入学後すぐに登録していた美咲野小メール、祖父母も含め、情報の豊かさに感謝しておりました。休校中は、子ども心のケア情報も入りました。地震後も注意することはありませんでした。今も元気に過ごしているのは、学校からの情報のおかげです。仕事でお会いできなかった私に、担任の先生が、こまめに連絡をして下さり、とても安心できました。感謝しております。



○教職員の方々、PTA役員の方々、子ども会の方々、地域の方々も本当に大変だったと思います。私たちは、良き人たちに支えられ、恵まれた環境にいるのだと再確認しています。同じ人間、何かあれば声を掛け合い、支え合い、今後も生きていきたいと思っています。子どもにおいては情報交換をしつつ、前向きに対応していければと思っていますので、よろしくお願いいたします。

美咲野小だより

7月

NO.22

H28. 7. 21

大津町立美咲野小学校
文責：草場ルミ子

楚喬亭の

もうすぐ夏休み(七月二十三日から八月三十一日まで)です。今年の夏休みは震災の影響で短くなったとはいえ、子どもたちにとっては家庭で過ごす時間はたっぷりあります。お家に帰ってからの遊びの状況については、よく保護者の方、地域の方からお電話を頂きます。「危ない自転車の乗り方をしていたので注意したら、知らんぷりしていきなりました。」とか「危険な遊びをしていたので、注意したけどやめなさい。」とか「何回も注意してはいたけれど、またやりました。」など、このような現状では「危ない遊びはしない」ということからは、繰り返し繰り返し学校でも指導しているのか。「安全な生活をするとはどういうことなのか。」「自分の命は自分で守るとはどういうことなのか。」子ども自身に考えさせることが大切だと思います。各ご家庭で、我が子のこととして、しっかりと子どもさんと話をされ、怪我や事故のない楽しい夏休みを過ごしてほしいなあと考えているところ。また注意をして下さっている方々に感謝します。ありがとうございます。

くもと家庭教育支援条例 学校等の役割 (第7条)

家庭、地域と連携して、基本的な生活習慣を身に付け、自立心を持ち、心身の調和のとれた子どもの育成に努めよう。



